

萬世の大路

令和6年度 総会開催

5月25日(木)午後7時から、万世コミセンに於いて本会の令和6年度総会が行われました。役員及び万世各地区から選出された評議員の出席のもと、慎重審議の上原案通り可決されました。特に、本会の目的とする「米沢市観光振興拡大への寄与の一助として活躍したい」という主旨の元に米沢観光推進機構(米沢市版DMO)に入会申込手続をしたところ、7月1日付で入会が認められました。今後行政(市側)と連携を取りながら活動を進めてまいります。(令和6年度事業予算の詳細は4ページを参照)

33年続く萬世大路散策

万世コミュニティセンター

事務局長 我妻和彦

6月16日(日)恒例となった萬世大路散策。今回は山形初代県令三島通庸の末裔で千葉県からお越しになった方々やオランダから来日されている方(話によると明治時代に日本政府から招請された土木技術者の末裔でした。)と遭遇

するなど
思い出に
残る散策
となつた。

33年ほど前から
始まった
公民館主催の萬世
大路散策
事業。その
間、保存会
の皆さんは
萬世大路
(隧道の自然教室)の研修会の開催やPR活動、地道な整備作業や樹木の名札付け作業、米沢市内の小中学生に知ってもらうための副読本作成等々、その活動内容の充実ぶりは増すばかり。令和2年には「未来に伝える山形の宝」に登録され山形県知事からも評価されるほどバワフルだ。ただただ頭が下がる。こうした情熱ある活動のお陰で、今では散策の募集をかければ応募者が殺



吾妻地区史談会との交流会

去る6月9日(日)表記の事業が行われました。

この事業は萬世大路関連の活動グループ間で、米沢と福島で1年交代で交流学習を深めていくものです。

今年度は福島側の担当行事として、旧板谷街道の石畳の季平に残る史



旧板谷街道の石畳

跡(道標、供養塔、石畳等)を見学させて頂き、昼食を共に致しました。

JR駅長おすすめの 小さな旅ガイド

8回目を迎えた今回は、入間川駅長が所用の為に参加できず、佐々木博一副長に随行していただきました。

当日は晴れ渡る青空の下で何と言っても、ここまで綺麗だったかと疑うほど、エゾアジサイが主役でした。ただ、天気が良すぎて気温も上がり、歩く度に水分の補給を促して進みましたが、初めての参加者はペース配分も分からず、下りの事を考えて、上りもあとわずかというところで、随行していた救護車に乗り込むことになりました。

予定の時間どおりに隧道に到着。昼食後、隧道の歴史を聞いて集合写真撮影。散策の下りは、2箇所休憩をとって全員歩いて下ることが出来ました。

萬歳の松公園では、幹の中に蟻が入り込んでいるのを見かけて、大切な景観樹木の保全には積極的な手を尽くしてくださいと参加者からお話をいただきました。

今回は山形市・米沢市・仙台市・福島市・郡山市から、50歳代から70歳代の計11名の参加者があり、アンケートをいただき整理しましたところ、二つの坑口と萬世大路エピソードに興味を持たれた方が多い事が分かりました。また、栗子山の大自然も大いに興味をもって頂き、違う季節にも来てみたいとの回答がありました。